

栃木県生協連・2012年度8月定例報告



2012年8月10日
栃木県連 専務 鎌柄

(1) 7月活動日誌

日付	曜日	日誌
7月2日	月	県連常務理事会、県連国際協同組合同年ワーキングチーム会
7月3日	火	県民生活部長訪問、県くらし安全安心課との意見交換会
7月4日	水	県・とちぎ食品安全フォーラム(県央)
7月7日	土	いわき市四倉仮設でのお茶会
7月9日	月	県連災害対策交流会
7月10日	火	県連地域部会
7月11日	水	県連職域部会、県防災訓練全体会議
7月12日	木	埼玉県連40周年祝賀会、日生協災害支援ボランティア交流会
7月13日	金	食の安全ネット全体会
7月17日	火	福祉ネットワーク全体会
7月18日	水	ふれあいお茶会、全国県連活動推進会議、国際協同組合デー中央集会
7月24日	火	中央地連運営委員会
7月26日	木	消費者ネット幹事会
7月30日	月	栃木労済生協総代会・全労済栃木県本部代表者会議
7月31日	月	県食品安全推進会議

※まとめは概況とします。

(2) 7月活動の概況

(会員の動き)

7月30日栃木労済生協総代会と全労済栃木県本部の代表者会議が開催された。専務理事が交代され、川崎宇喜夫前専務理事が退任され川喜多弘新専務理事が就任された。ほぼ会員の総代会を終え、役員体制が報告されてきている。理事長、副理事長、専務理事が交代されたり、新たに就任された会員が10会員にのぼる。(詳しくは別紙)

(部会等の動き)

7月10日生活クラブ生協で地域部会が開催された。新年度も4～5月度を終え3地域生協の無店舗事業と事業団からの報告がされた。よつ葉生協の実績は利用点数減が見られること、とちぎコープは1点単価の割れはあるものの3ヶ月連続の計画達成、生活クラブ生協は放射性物質の検査の取り組みなどの報告があった。

7月11日職域部会が開かれ、2会員2連合会、7名の参加だった。2会員の新年度事業報告と日本生協連職域部関係の報告、県連から6県連合同研修会への参加と福島県生協連からの要請について、交流と意見交換が行われた。

7月9日今年度第1回目の県連「災害対策交流会」を開催した。県の危機管理・災害対策室の石澤室長、安生副主幹にお出でいただき栃木県地域防災計画見直しの進行状況として、「震災対策編、風水害、雪害対策編、原子力対策編骨子」について報告をいた

だった。とちぎ暮らし応援会の石垣さんにも避難されている方の状況など報告いただき、BCP対策含めて意見交換を行った。県と那須塩原市、宇都宮市、小山市や関係団体からも12組織、24名の参加があり、震災2年目を経ても関心の高さが伺えた。

(宇都宮市内と福島県で避難されている方々のふれあいお茶会)

7月17日(火)11回目のふれあいお茶会が開催された。参加者は、浪江町の方7名、福島市の方5名(内子供1名)、双葉町の方4名、南相馬市の方4名(内子供1名)大熊町の方2名、須賀川市の方1名、相馬市の方1名、飯館村の方1名、石巻市の方1名、大人24名 子供2名 合計26名の参加があった。福島県行政の方1名。スタッフは県連、とちぎコープ、よつ葉生協、ふれあいコープ、NPOウィズ、計14名だった。しばらく参加していない方へ安否確認の電話入れも行われた。数名の方が再度参加され、福島県行政から前回の要望書に対する回答も行われた。8月は21日夏祭りが予定されている。

(いわき市中核工業団地内仮設でのお茶会)

7月7日(土)のスタッフ参加者は、とちぎコープ8名、よつ葉生協1名、県連3名の計12名、車はとちぎコープ、ふれあいコープの2台でいわきに向かった。当日は雨模様だった中でも、参加された方が17名(新しい方も加わり、小学生のお子さんもお一人)だった。お茶を飲み、お話をされながら、手作りうちわづくりなど皆さんで楽しまれたひと時になった。夏場でもあり軽食は、麺など夏らしい食材を理事のみ皆さんで用意いただいた。

(EAST LOOPへのご協力をお願い)

岩手、宮城など被災された方々が製作されているハートブローチについて、約500ヶの普及が進められた。とちぎコープ、よつ葉生協では組合員さん向けに事業ルートを通して普及が進められている。

(食の安全課題の関連)

7月13日食の安全ネットワークの全体会が開かれ、「食品表示の一元化についての学習会」も含めて行われた。学習会は行政も含め15組織、47名の参加だった。講師は、消費者庁食品表示課の橋口智氏で、現在消費者庁で検討されている食品表示一元化検討会の中間まとめと論点に沿って報告がされた。検討会は11回まで開かれ、報告書がまとめられ、今後平成24年度中の法案化(食品衛生法、JAS法、健康増進法の表示に関する新法)と国会での審議、移行期間を含めて、今後3~4年のスパンで見て行く必要がある。

同日の「全体会」の内容は、ネットワーク参加の4事業者さんからの報告が行われた。東武宇都宮百貨店、こいしや食品、荒井食品、フタバ食品からそれぞれ良い取り組み報告をいただいた。また、6月20日と7月4日「食品安全フォーラム」の振り返りの意見交換が行われた。アンケートからも西那須野会場より、宇都宮会場の評価が高かった。基本的に同じ講師陣なだけに、運営の部分で評価が分かれた部分があった。

同日第4回仮「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」プロジェクトも開かれた。仮「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」各会場の日程、講師などの企画案と今後の準備内容について、意見交換が行われた。

7月31日栃木県「食の安全安心推進会議」が開催された。放射性物質への対応問題を中心に報告がされた。県連からは竹内会長が参加した。

(消費者課題の関連)

7月13日第1回宇都宮市消費者団体連絡会が開催され、消費者ネットワークとして参加した。宇都宮市のイベント(もったいないフェア、食育フェア)での消費者啓発の

協力について話合われ、可能な形で協力していく事が確認された。

7月26日消費者ネットワーク幹事会が開かれた。消費生活条例試案策定に向けてと、県くらし安全安心課消費者行政推進室との意見交換会、2012年度消費者シンポジウムの1次企画について、話し合われた。

(福祉の関連)

7月17日福祉ネットワーク全体会が開催され、7組織10名の参加があった。特別報告として、ふれあいコープ地域密着型小規模特養「みどりの樹」の永沢施設長から、開設から2～3ヶ月の状況について詳しく報告された。また、ネットワーク参加団体の2012年度計画等の交流、ネットワークの2012年度計画についても確認された。

(国際協同組合年)

第3回目の栃木県実行委員会を、8月20日開催するためにJA栃木中央会三役と、7月30日に打ち合わせを行い、提案内容について協議がされた。

7月2日開催 第11回の国際協同組合年ワーキングチーム会が開催された。とちぎコープ生協の川端デリ宅配事業部長からのレポートは、「協同組合の役割と未来」第3章(世界の協同組合・世界の協同組合の歴史、現状、課題と展望について意見交換された。「協同組合憲章草案」の冊子4～6(国際協同組合年に向けた日本の取り組み、憲章とは何か、憲章のめざすもの)のレポートを栃木保健医療生協宮本組織部長が行い、宇都宮大学農学部原田准教授と神代准教授からのコメントもいただきながら、意見交換がされた。

(会員の国際協同組合年の取り組み)

別紙参照

(日本生協連関連報告及び要請事項)

7月12日日生協・震災ボランティア担当者交流会が福島市で開催された。被災地3県3地域生協(いわて、みやぎ、福島県連)の現在の震災ボランティアの取り組み報告がされた。福島県の現状と取り組み報告の中では、福島県連の佐藤専務、福島大学の小山良太准教授、西崎伸子准教授の報告が、それぞれ実践的な取り組みに基づくもので興味深かった。

安心して住める「福島」を取り戻すための活動推進を、7月2日県連常務理事会で確認の上会員への要請を7月5日付で発信した。8月2日の県連理事会で事後承認の形で再確認をいただいた。募金及び署名について、可能な取り組みを検討の上会員での推進を再度要請した。

(行政・他団体との協働)

7月3日栃木県くらし安全安心課と栃木県生協連の意見交換会が今年も開催された。参加は県から黒田課長、須賀室長、戸田主査、川俣主任の4名の方、生協連から4会員10名の参加があった。内容はくらし安全安心課から見た生協の課題などの話がされ、生協連からは2011年度の状況、2012年度生協連及び会員生協等の取り組み、国際協同組合年関連報告などを行い意見交換がされた。行政との協働が進んでいるだけに、県くらし安全安心課の期待も大きくなっている。

(3) 9～11月の課題

1. 9～11月部会活動の推進
2. 9～11月ネットワーク活動（食の安全ネット、消費者ネット）推進
（仮・食の安全安心とちぎ消費者セミナーの準備と推進を含む）
3. 2012年国際協同合年栃木県実行委員会開催と交流会の準備
4. 栃木県生協連内の国際協同組合同年ワーキングチームの活動推進
5. 安心して住める「福島」を取り戻すための活動推進
6. 震災被災地・被災者への支援・ボランティア派遣
7. 第5次中計委員会の発足

（平成24年度・栃木県連・行政・関係団体等行事の事前のお知らせ）

1. 栃木県生協連の活動予定

- 8月21日（火）16時～、特養みどり「ふれあいお茶会」夏祭り
9月8日（土）8時壬生集合、11時～、いわき市四倉工業団地仮設での「お茶会」
9月5日（水）15時～、国際協同組合同年ワーキングチーム会
9月6～7日、新潟県連、6県連合同業態研修会
9月11日13時半～、栃木県労働者福祉センター、「拡大役員研修会」
テーマ 「税と社会保障の現状と課題～」
講師 日本生協連 政策企画部 三谷和央氏
10月1日10時～、福祉プラザ予定、くらし部会

2. ネットワークの活動予定

- 8月29日15時半～、アグリ、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」プロジェクト
9月10日13時半～、県司法書士会館、とちぎ消費者ネットワーク全体会
15時半～、県司法書士会館、とちぎ消費者ネットワーク・
消費生活条例試案検討委員会
9月18日、福祉ネットワーク全体会（見学会）予定
9月27日13時半～、アグリプラザ予定、とちぎ食の安全ネットワーク全体会

3. 国際協同組合同年関係

- 8月20日10時～、アグリプラザ、栃木県実行委員会
12月5日15時予定、東武ホテル、協同組合交流会予定

4. 栃木県及び宇都宮市、他団体の行事参加の予定

- 8月17日（木）明治大学、JC総研「協同組合セミナー」
9月2日（日）那須烏山市大桶運動公園、栃木県・那須烏山市総合防災訓練
10月6日（土）明治大学、生協総研「研究集会」
10月8日（月）宇都宮城址公園他、うつのみや食育フェア
12月1～2日（土）マロニエプラザ、県ECOテック&ライフ2012

会員の動き（別紙）

（異動や総代会で理事長、副理事長、専務理事等が交代又は就任された会員）

足尾銅山生協三養会

- ・1月30日総代会、久能正之理事長就任（池部清彦前理事長）

中央労働金庫栃木県本部

- ・3月1日付異動、後藤裕見副本部長就任（小古山稔前副本部長）

宇都宮市職員生協

- ・4月1日付異動、鈴木雅裕事務局長就任（高橋信彦前事務局長）

宇都宮大学消費生協

- ・7月理事会 中島 望理事長就任（高際澄雄前理事長）
- 5月21日総代会、渡邊陽一専務理事就任（秋元誠司前専務理事）

栃木県労働者消費生協

- ・5月25日総代会、大塚京子事務局長就任（刀川京子前事務局長）

生活クラブ生協

- ・6月7日総代会、伊藤三保理事長就任（山中和見前理事長）
- 早川幸子副理事長就任（伊藤三保前副理事長）

とちぎコープ生協

- ・6月14日総代会、古口葉子理事長就任（片桐雅義前理事長）

よつ葉生協

- ・6月16日総代会、倉持まゆみ副理事長就任

栃木保健医療生協

- ・6月24日総代会、関口真紀理事長就任（天谷静雄前理事長）
- 天谷静雄副理事長就任（関口真紀前副理事長）

栃木県労働者共済生協

- ・7月30日総代会、川喜多弘専務理事就任（川崎宇喜夫前専務理事）

2012年8月2日

理事会資料

国際協同組合年に関連した会員の取り組み

栃木県生協連

よつ葉生協 協同組合の役割も含め震災被災地の職員見学ツアーを実施

とちぎコープ生協 機関紙を通して組合員へ国際年のお知らせと

職員を対象に協同組合年のDVDなどで学習

栃木保健医療生協 8月25～26日合宿形式で職員学習会を開催予定

全労済栃木県本部

- ・全労済グループで役員や組合員地区役員などを対象に1泊2日の

研修会を神戸で実施

- ・10月28日「防災フェスティバル」開催（組合員向け）

- ・12月9日「役職員研修会」（仮題・賀川豊彦の功績や歴史など）

中央労働金庫栃木県本部

- ・役職員向け研修の実施

- ・2012年9月21日国際協同組合年記念フォーラム開催（中央労金主催）

栃木県生協連

- ・2011年9月5日「協同組合の価値と国際協同組合年の課題」学習会

- ・2011年8月～国際協同組合年ワーキングチーム会月1回学習会開催

※現在、事務局に報告いただいた資料になりますのでご了承願います。